

報道関係各位

「ノウフクフェスタ@上野公園」開催のお知らせ

「農業」と「福祉」の連携を通じて障がい者をはじめ、地域における多様な人々が役割を担い、活躍できる社会を目指す「農福連携」の取り組みが今、各地で広がっています。

本フェスタは一人でも多くの方にそんな農福連携について関心や支援、参加の意識付けを持っていただくきっかけの場として開催いたします。

～農福連携を通じて多様な人がつながって、地域を元気に！～

ノウフクフェスタ @上野公園

- 日 時 : 令和4年1月15日(土)・16日(日) 10時～17時
- 会 場 : 上野公園噴水前広場
- 対 象 : どなたでもご参加いただけます
- 主 催 : 一般社団法人 ぶどうの木
- 後 援 : 農林水産省・厚生労働省・法務省・千葉県・(一社)日本農福連携協会

■プログラム

- 【ノウフクマルシェ】 全国より農福連携を行う事業所、団体等からノウフク製品を取り揃え、販売します。(野菜・果物・園芸品・加工品など)
- 【ノウフク食堂】 ノウフク産品をふんだんに使用した多彩なメニューを用意しています。(飲食スペースはテーブルや椅子も完備しています)
- 【ノウフクブース】 農林水産省／厚生労働省／法務省をはじめとする各省の農福連携への取り組みや支援の現状について、パネルの展示やパンフレットの設置を行います。
- 【トークセッション】 「これまでの農福連携、これからの農福連携」をテーマに実践事業所のスタッフや、各方面で農福連携や障害福祉に関わる方に参加をいただき、初めての方にもわかり易く農福連携について説明します。
- 【ミニコンサート】 浅草を拠点にクラシックや邦楽、ジャズ、ヒップホップ、自然などとの異色なコラボを展開する和太鼓ソロ奏者「小林太郎氏」を初め多彩な出演者を予定。

※取材をご希望の方はウラ面(次頁)の「取材申込書」に必要事項を明記の上、FAX またはメールにてお申し込みください。

取材申込書

「ノウフクフェスタ@上野公園」

FAX・メール送信先：ノウフクフェスタ@上野公園 実行委員会

FAX：047-411-8861（担当／和田）

メール：wada@truevine.or.jp

御社名

番組／媒体名

御芳名

撮影の有無（スチール・ムービー）

電話

メール

参加人数（本人含む）

名

※取材を申し込まれる方は、恐縮でございますが、上記申込書に必要事項を
ご記入の上、FAX 又はメールにてお申込み頂きます様お願い申し上げます

【取材に関するお問い合わせ先】

「ノウフクフェスタ@上野公園」実行委員会事務局（担当：和田）

TEL：090-2424-6783

※参考

〔農福連携〕とは

障がい者等が農業分野での活躍を通じて自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取り組みであり、「農業・農村における課題」、「福祉における課題」の双方における課題解決と利益（メリット）があるWin-Winの取組と言われており、全国規模で取り組みの拡大が進んでいます。

農福連携の取り組みが深化することにより、障がい者と地域との間で農業だけでなく、様々な形で交流が生まれ、地域コミュニティが活性化することにより地域再生へとつながり、持続可能な社会の実現が期待できます。

政府は令和元年6月4日、関係省庁と有識者で構成される農業分野での障がい者就労を支援する「農福連携等推進会議」を開催し、障がい者を新たな担い手として育てるため、農家と雇用の場を設けたい福祉施設を橋渡しする機能の拡充を柱とする「農福連携等推進ビジョン」を取りまとめ、省庁を横断し農業と福祉の連携拡大を後押しし、人材育成などに重点を置いて障害者の社会的自立につなげる施策を推進していくことを決定いたしました。

さらに令和2年には「農福連携等応援コンソーシアム」が設置され、国・地方公共団体、関係団体等のもとより、経済界や消費者、学識経験者等の様々な関係者を巻き込んだ国民的運動として農福連携の推進を行っています。

〔一般社団法人 ぶどうの木〕について

2019年4月に設立された団体で、主に千葉県における農福連携の認知の向上、取り組みの輪の促進を目的に活動を行っています。

これまでに「農福連携セミナー」をはじめ「農福連携スタディツアー」、地元企業と連携した“農福連携を核とした地域コミュニティの構築事業、等”を行い2022年度には、千葉市内において農福連携を行う事業所の開設を目指しています。

本フェスタは千葉県内に拘らず、一人でも多くの方々が農福連携への理解や関心を深めると共に、様々な業種・業態の関係者がつながるきっかけの場と捉えています。

<http://truevine.jp/>